

協会ニュース

平成20年 10 月 7 日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川3丁目5番9号 世良ビル404号
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.or.jp
URL: <http://qmac.jp/>

平成20年度 第2回シンポジウム「情報通信技術とIT経営革新」 ～情報化投資効果とIT経営力を活かした実践技術について～

- ◆開催日時 平成20年9月26日(金) 13:30～17:00
- ◆場 所 広島インテスビル 14階会議室 (広島市中区)
- ◆参加者 121名

情報化投資効果とIT経営力を活かした実践技術に関するITシンポジウムが、平成20年9月26日に広島インテスビルにおいて、121名という多数の参加者のもと、盛大に開催されました。

最初に関西大学総合情報学部・准教授 古賀 広志氏から「情報通信技術の変遷とIT経営力実践」と題して講演を頂きました。昨今の情報通信技術を巡る環境変化についての解説と企業内部の活動と情報通信技術の関わり方について考察が行われ、「タビオ」の事例紹介では情報活用の戦略やデータ活用によりグループ全体の効率化に寄与した事例が紹介されました。終始、小気味良いテンポの講演に引込まれました。

次に(株)富士通総研取締役 徳丸 嘉彦氏より「企業革新体質」確立のために～人を主役にしたプロセスとITの一体化～と題して同社の新たな取り組みであるフィールドイノベーションについて具体的でわかりやすい紹介が行われました。新たな視点で、課題領域(フィールド)を捉え可視化、全体最適化、継続的改善を通じて、イノベーションを推進する基本的な考え方と事例紹介が行われました。事実を捉える事、改革する事、全体を最適化すること、継続する事が重要であり、人・プロセス・ITの一体化をリザルトチェーンで確認する考え方に感銘を受けました。

さらに広島工業大学 教授 久保田 洋志氏が参加し、3名でのパネルディスカッションが実施されました。講演内容に対する質問に解説を加えることで深掘りが行われ、内容の濃いパネルディスカッションとなりました。

参加者各階層でも大変参考となったとの声が聞かれ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



関西大学 古賀准教授



会場の様子



富士通総研 徳丸嘉彦氏



広島工業大学 久保田洋一教授



パネル討論の様子

